

福祉用具等支援

リハビリテーションラウンジ

リハビリテーション支援センター1階のリハビリテーションラウンジでは、コミュニケーション関連用具（重度障害者用意思伝達装置本体、入力装置、パソコン入力装置等）や自操式福祉車両等を中心に、約400点を展示しています。

「見て、触れて、体験」することができます。

展示内容

- ◆ コミュニケーション支援用具
(ローテクコミュニケーション用具、ハイテクコミュニケーション用具各種)
- ◆ 移動・移乗支援用具
- ◆ 自操式福祉車両
- ◆ 自助具等

【コミュニケーション支援とは】大きく以下の3つに分類されます。

ローテクコミュニケーション技法

- ・簡単な道具を使ったコミュニケーションの技法のこと
- ・筆談、文字盤、透明文字盤、コミュニケーションボード等

ハイテクコミュニケーション技法

- ・電子機器を使ったコミュニケーションの技法のこと

非エイドコミュニケーション技法

- ・道具を使わないコミュニケーションの技法のこと
- ・ジェスチャー、目や唇の動きや、わずかな発声を読み取る
- ・YES/NO

展示用具の一例

◆コミュニケーション支援用具

< 重度障害者用意思伝達装置 >



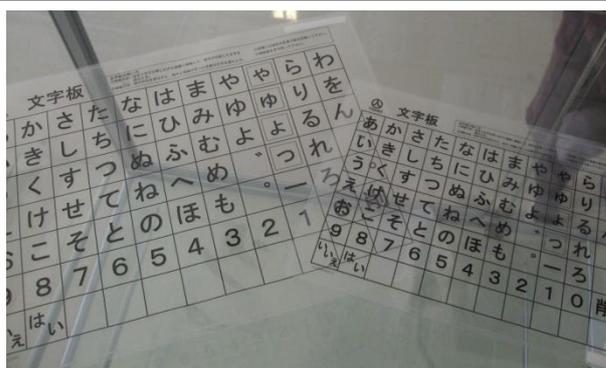
意思伝達装置とは、コミュニケーション機器の一種です。外観上の本体は一般的なパソコンで、操作に必要なスイッチ・リモコン類、プリンタ等が接続されます。話すことや筆談が困難な方でも、わずかな身体動作で他者に思考を伝えることができます。スキャン方式や視線入力式等、複数の種類を展示しておりますので、ぜひご体験ください。

< 各種入力装置 >



意思伝達装置の操作に必要なスイッチで接点式入力装置と呼ばれるものです。他にも各種入力装置や入力装置固定台などを展示しております。身体状況に合わせて入力方法や環境設定などが必要になります。意思伝達装置と合わせて、ぜひ体験ください。

< 透明文字盤 >



透明文字盤は、視線を合わせる要領でコミュニケーションをとることができる用具です。眼球運動等が保たれていれば、重度障害のある方でも会話を行うことができます。また、停電時など機器が使用できない場合に重宝されます。簡単に会話ができるので、ぜひご体験ください。

◆移動・移乗支援用具

<トランスファーボード>



トランスファーボードは、車椅子の方や身体の移動が困難な方が、別の場所からだを移乗するときに便利な、かけ渡しの板のことです。一度腰を掛けてから移乗することができるため、安心して移乗動作することができます。ベッドや車椅子等を使用して体験いただけます。

<床走行型リフト>



介護リフトは、車椅子とベッド・浴室・自動車などとの間を、自力で移動できない高齢者や身体障害のある方に対し、吊り具(リフト)を用いて移動を介助するための機器です。天井にレールをつけて移動する天井走行リフトや床走行型リフトなどがあります。当展示コーナーには床走行型リフトを展示しています。

◆自操式福祉車両



身体に障害がある方で自動車運転を目指す方は、車両の改造が必要になる場合があります。当展示コーナーでは、手動装置や左アクセルペダル装置などを装備した自動車を展示しています。見学だけでなく、免許取得(運転再開)の手続きの方法など、各種情報提供等に対応しておりますので、ぜひご相談下さい。

職員による相談も行っています。見学や相談を希望される場合は事前に電話で御相談ください。リハビリテーション支援班 (022) 784-3588